

北海道大学 ホームカミングデー2018

水産学部卒業生のつどい



講 演 会

水産研究所で海洋研究を行う

～プランクトンを通して 気候・生態系・水産資源の変化を見る～

講師：中田 薫 氏（国立研究開発法人水産研究・教育機構理事）

日時：平成30年9月29日（土）14：00～15：30

場所：学術交流会館 第1会議室（参加申込不要）

◇プロフィー



1981年水産学部水産増殖学科卒業。1983年水産学研究科修士課程修了。修了後、水産庁東海区水産研究所（現 国立研究開発法人水産研究・教育機構 中央水産研究所）資源部研究員として就職。2016年4月より現職。

水産資源「餌料」としての視点からプランクトンの生理生態研究を行うと共に、水産研究所で長期間蓄積されてきたデータやプランクトン試料を活用し、プランクトンの変化を通して気候変動がマイワシ等の水産資源変動に及ぼす影響解明の研究に取り組む。その後東日本大震災対応ならびに研究所が行う海洋・環境研究を統括。

国や地域の各種委員を歴任。学術会議連携会員。1992年日本海洋学会日高論文賞、1996年および1998年北太平洋海洋科学機関(PICES) Best paper、2003年水産海洋学会宇田賞受賞。農学博士。編書に「地球温暖化とさかな」、「海と魚の放射能汚染」、「Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing ground」などがある。

○ 講演会終了後、懇親会を開催します。

16:15-17:45, 百年記念会館一階「北大マルシェ」

※事前申込が必要です。

HP(<https://www.hokudai.ac.jp/home2018/>)をご覧下さい。

◇講演会場案内図

